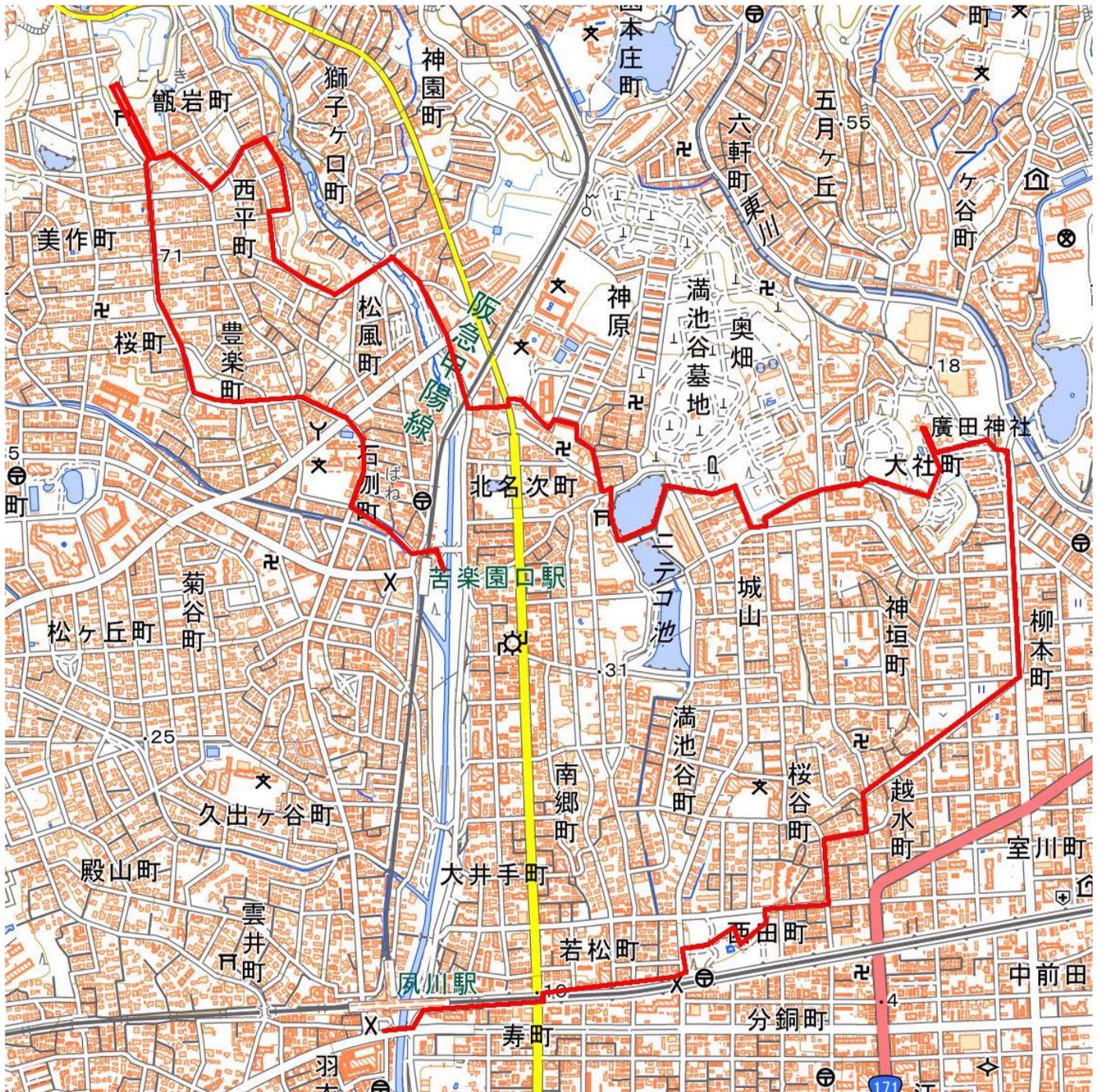


行 事 報 告 書(例会)

報告者： 小山那須夫

行 事 名	越木岩神社から廣田神社へ
実施日時	令和5年11月22日(水曜日) 10時～ 15時 天候:晴れ
行先・場所	越木岩神社→ニテコ池・名次神社→廣田神社→西田公園
主旨・行程	「北の戎」とも称される越木岩神社、野坂昭如の「蛍の墓」の舞台となったニテコ池・「吾妹子(わぎもこ)に 稲野は見せつ名次山 角(つゆ)の松原 いつか示さむ」と万葉集に載る名次山・名次神社を経てツツジで有名な廣田神社まで歩く(昼食) 午後は旧西国街道を歩き万葉ゆかりの西田公園へ、現地で解散
参加人員	MNC 30名、他 名 担当:三仲、小山
経過・状況	<p>阪急苦楽園口 10時集合、コース概略説明後、越木岩神社目指して歩く。急坂を30分ほどで、越木岩神社に着く。神社宮司より神社の由来、ご神体は甕(こしき)岩、ヒメユズリハなどからなる社業林は県の天然記念物に指定されていることなどの案内を受ける。</p> <p>11時20分ニテコ池着、池ではカイツブリ、キンクロハジロ、バン、カルガモなどの冬鳥がみられた。名次山、名次神社、松下幸之助氏の旧住居を経て12時30分廣田神社着 昼食後廣田神社拜殿で全員お祓いを受け宮司の講話を聴く。ご祭神や、官幣大社であることなど神社の歴史、今年日本一になった阪神タイガースとの関係、さらにミツバツツジについて説明を受けました。</p> <p>14時40分廣田神社より旧西国街道を経て万葉ゆかりの西田公園へ、公園にて解散</p>
	
まとめ・感想	<p>天候にも恵まれ、越木岩神社宮司の丁寧な境内案内、廣田神社ではいきなり拜殿で全員お祓いを受けた後宮司の講話、日本一になった阪神タイガースと廣田神社のエピソードなどに抱腹絶倒、楽しい1日でした。講話で時間を費やし廣田神社で三々五々解散、西田公園をゆっくり観察できなかったのが残念。</p>



越木岩神社：

高さ10mの甑(こしき)岩がご神体で、「安産の神」として古くから信仰されている。また、西宮神社から勧請した蛭子大神(えびす神)が祭神であることから、「北の戎」ともいわれている。拝殿にかかげられた御蔭(おかげ)踊り図絵馬が市の有形民俗文化財に、ヒメユズリハなどからなる社叢林は県の天然記念物に指定されている。



名次神社

ニテコ池の北西にある廣田神社の摂社。かつては、万葉集にも詠まれた景勝地名次山の中央に鎮座しており、現在の地は明治41年に移転。平安時代の書物「延喜式」にも名が残る古い神社。



ニテコ池



廣田神社 本殿は神明造りといわれる様式で建てられ、「日本書紀」にも出てくる由緒ある神社。境内に自生するコバノミツバツツジは県指定天然記念物で、春には美しい花を咲かせ、広田の山を紅色に染める。



「ただ三つ葉 千万人を おびき寄せ」
牧野富太郎 (1934年春)



西田公園： 西宮市にゆかりの深い万葉集研究家・犬養孝先生(1907-1998)の指導のもと、万葉集ゆかりの72種類の植物を植えられている。それぞれの植物には犬養先生の選んだ万葉歌や花などの説明板を付けられており万葉の世界が楽しめる